

コウナゴ調査速報

平成24年4月16～21日に、県漁業調査指導船「拓洋丸」の科学計量魚群探知機を用いてのコウナゴ、オキアミの魚群の探査と水温観測を実施しました。調査は下記のラインによる航走調査を行い、その概要は以下のとおりです。

コウナゴの魚探反応は亘理町から波島沖までのAラインのみ薄い分布が確認されました。この内、St.1～St.3までの3点で中層トロール調査（10分曳き）を実施しました（表1、図、）。St.1での漁獲は0.3kgとわずかでしたが、St.2では1.7kg、St.3で0.8kgの漁獲がありました。仙台湾の水温が7～8℃と低いため、体長は35～45mm主体で小さめとなっています。

また、BラインのSt.4ではメロウドが2.4kg、St.5ではオキアミ3.2kgの漁獲がありました。Cラインでは、中層トロールは実施しませんでした。全域にわたって底層にオキアミの濃い反応があり、金華山周辺では水深20～40m層でも反応がありました。

調査点	St.1	St.2	St.3	St.4	St.5	
観測年月日	2012/4/16	2012/4/16	2012/4/17	2012/4/18	2012/4/18	
観測時刻	8:06	12:02	13:10	8:33	9:58	
位置	北緯	38-20	38-07	37-58	38-03	38-06
	東経	141-15	141-07	141-21	141-17	141-25
表面水温	7.79	8.03	9.90	7.52	7.52	
曳網深度	5～15m	10～20m	10～20m	20～40m	20～40m	
曳網時間	10分	10分	10分	10分	10分	
漁獲物	コウナゴ0.3kg 体長26～55mm	コウナゴ1.7kg 体長34～61mm	コウナゴ0.8kg 体長25～50mm (クラゲ混じり)	メロウド2.4kg 体長110～150mm	オキアミ3.2kg	

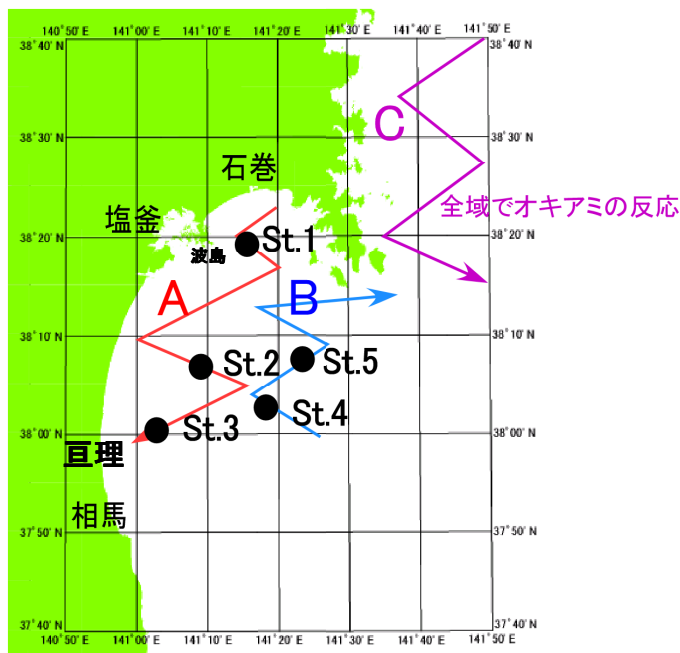


図1 ●中層トロールの調査点

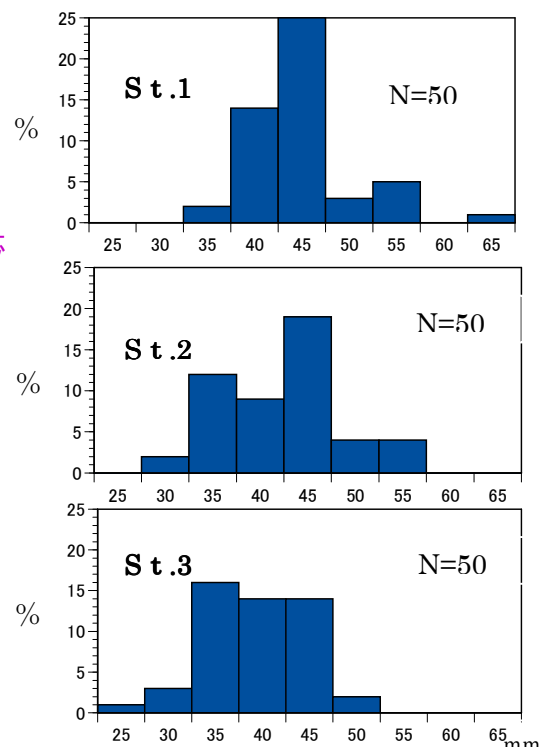


図2 コウナゴ体長組成

